

2016年1月29日

報道関係者各位

〒980-8511 仙台市青葉区土樋 1-3-1

法人事務局広報部広報課

E-Mail koho@tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-264-6423 / FAX 022-264-6478



2016年 東北学院は創立130周年を迎えます

フォーラム 2015 自然と歴史から考える里浜の未来 —自然の恵みを最大化する‘里浜復興シナリオ’創出— (開催のご案内)

2011年3月11日の未曾有の災害から、間もなく5年。「海と陸、河川が接する海岸エコトーン」に散りばめられていた「うるわしいふるさと・里浜」では、どんな復興・地域づくりがなされてきたのでしょうか。

「フォーラム 2015」では、(1)「ふるさと・里浜の自然、伝統的な知恵・技法と復興事業が調和することの大切さ」について考え、(2)「持続可能な里浜づくり」の根幹にある「多重防御と合意形成」を最適化するための「里浜復興シナリオ」創出活動について報告・議論します。

東日本大震災後に大きく変貌し続ける太平洋沿岸域・里浜に関心をお持ちの皆様にご参集いただき、交流を深めたく、ご案内申し上げます。

記

日時：2016年2月13日(土) 13:00～17:00

会場：東北学院大学 土樋キャンパス 8号館5階 押川記念ホール

参加費：無料

申し込み：不要 直接会場にお越し下さい

*自家用車は入構できません。公共交通機関でご来校いただくか、キャンパス近隣の民間有料駐車場をご利用下さい。

「東北学院大学 平成27年度 学長研究助成金」支援事業

・プログラムについては次ページ、及び添付のフライヤーを参照ください。

問い合わせ：東北学院大学 教養学部 地域構想学科 平吹 喜彦

yhira@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

【当日プログラム】

2016年2月13日(土) 13:00~17:00

東北学院大学 土樋キャンパス 8号館5階 押川記念ホール

開 会

開催趣旨説明 平吹喜彦(東北学院大学)

基調講演

ふるさとの自然・里浜と「和(あ)える」ことが復興のポイント!
鈴木邦雄(横浜国立大学前学長)

パネルディスカッション(プロジェクト報告、質疑・参加者交流)

進 行 平吹 喜彦(東北学院大学 景観生態学)

モデレーター 菊池 慶子(東北学院大学 歴史学)

原 慶太郎(東京情報大学 景観生態学)

パネリスト 鈴木 邦雄(横浜国立大学前学長 環境マネジメント)

岡 浩平(広島工業大学 海岸生態学)

富田 瑞樹(東京情報大学 森林生態学)

柳澤 英明(東北学院大学 海岸工学)

千葉 一(一般社団法人前浜おらほのとおき 民俗学)

佐々木秀之(NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センターコミュニティビジネス)

閉 会

主催:「生態系サービスの享受を最大化する『里浜復興シナリオ』創出」プロジェクトチーム 「東北学院大学 平成27年度 学長研究助成金」支援事業

後援:高砂市民センター、NPO 法人宮城歴史資料保存ネットワーク、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、東北学院大学

協力:NPO 法人日本ビオトープ協会(北海道・東北地区委員会)、NPO 法人環境生態工学研究所、緑を守り育てる宮城県連絡会議、北の里浜 花のかけはしネットワーク、宮城昆虫地理研究会、(一社)前浜おらほのとおき、南蒲生/砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク

問い合わせ:東北学院大学 教養学部 地域構想学科 平吹 喜彦
yhira@mail.tohoku-gakuin.ac.jp